リスクマネジメント、情報セキュリティの取り組みに関する情報は以下のページをご参照ください

リスクマネジメントの取り組み（情報セキュリティ含む）
▸https://www.westjr.co.jp/company/action/risk_management/
JR西日本グループ情報セキュリティポリシー
▸https://www.westjr.co.jp/guide/security.html
IT Report 2025
▸https://www.westjr.co.jp/efforts/pdf/it_report2025.pdf

情報セキュリティ

情報セキュリティに関するJR西日本グループの考え方

JR西日本グループは、情報資産をさまざまな脅威から守るために「JR西日本グループ情報セキュリティポリシー」を定めてこれを遵守し、グループ会社間の情報共有と相互連携により、グループ全体で情報セキュリティ対策を継続的に行っていくことを宣言しています。

近年、サイバー攻撃によるリスク・被害は増大し、かつ高頻度になっており、政府も国家戦略としてサイバーセキュリティの強化を要請しています。JR西日本グループも、DX進展に伴う脆弱性の拡大や攻撃の巧妙化、脅威の増大に対し、デジタル戦略4つの柱の内の1つとして情報セキュリティに取り組んでいます。

デジタルを活用した新たな価値提供の取り組みを推進する当社グループにおいて、「攻め」のデジタル戦略と「守り」の情報セキュリティは両輪です。「Wesmo!」のサービス開始をはじめとした多様なサービスの展開、新たな事業の創出を加速するうえで、グループ全体で適切な情報セキュリティを確保し続けることはすべての基盤となります。

お客様に安心・信頼してサービスをご利用いただくため、これまでも2025年大阪・関西万博開催に向けて様々なセキュリティ対策を積み上げてきました。これからもこの基盤を活かしつつ、グループ、パートナーの皆様との「相互理解」「敬意と共感」を大切にしながら、リスク変化に応じた対策に継続して取り組んでいきます。

推進責任者 技術理事 デジタルソリューション本部システムマネジメント部長（CISO）
甲斐 康弘（情報処理安全確保支援士（登録番号第025068号））

情報セキュリティガバナンス

JR西日本グループのセキュリティ体制

最高情報セキュリティ責任者（CISO）を委員長とした情報セキュリティ委員会を設置し、その下部組織として「重要インフラ部会」および「JR西日本グループCSIRT※1（JRW-CSIRT）」を運営しています。その他、外部機関との連携も行い、グループ全体のセキュリティレベル向上に取り組んでいます。

●情報セキュリティ委員会

JR西日本グループ内でのセキュリティに関する取り組み実績の報告に加え、社内外の動向を踏まえ、JR西日本グループ全体のセキュリティレベル向上を目的とした取り組み方針を決定しています。

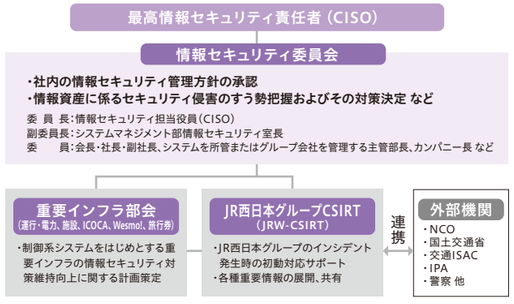
●外部機関との連携

国家サイバー統括室（NCO）、国土交通省、警察機関、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）など外部機関との情報連携に加え、交通ISAC※2への加盟や、日本シーサート協議会（NCA）※3主催のワーキンググループへの積極的な参加などを通してセキュリティ強化に努めています。

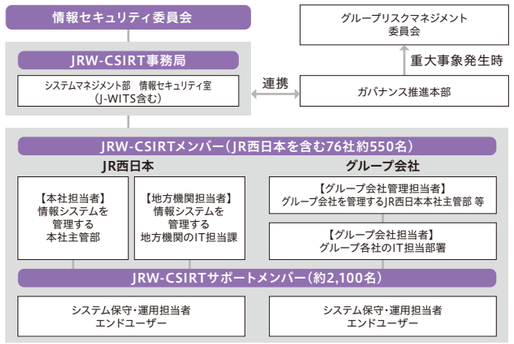
JR西日本グループCSIRTの運営

セキュリティインシデントの未然防止および発生時の被害拡大防止を目的として、「JR西日本グループCSIRT（JRW-CSIRT）」を設置し、情報連携や教育による意識向上、ならびにインシデント発生時の迅速な対応に取り組んでいます。また、各部門・各社に対応窓口となるJRW-CSIRTメンバー（76社約550名）およびJRW-CSIRTサポートメンバー（約2,100名）を配置し、体制を強化しています。

■ JR西日本グループのセキュリティ体制



■ JRW-CSIRTの体制



※1 CSIRT（シーサート）　：Computer Security Incident Response Teamの略。コンピュータセキュリティに係るインシデントに対処するための組織の総称。
※2 交通ISAC　：交通・運輸分野全体の集団防御力の向上に資する活動を推進する団体。
※3 日本シーサート協議会（NCA）：日本で活動するCSIRT間の情報共有および連携を図る団体。

重要インフラ部会の運営

鉄道運行に関わるシステムをはじめとした制御系のシステムや、ICOCA、Wesmo!などの社会インフラを支える重要なシステム（重要インフラ）については、情報セキュリティ委員会内の「重要インフラ部会」において各主管部長の主導でさまざまな取り組みを進めています。さらに、外部機関（国家サイバー統括室（NCO）など）と連携し、サイバー攻撃・対策に関する情報共有や訓練も実施しています。

安全なシステム開発を行うための取り組み

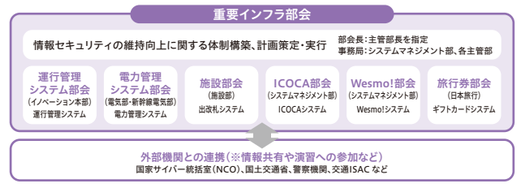
JR西日本グループでは、システム・サービスを安全に開発・運用するため、特にセキュリティ対策が必要とされるお客様の個人情報を取り扱うシステムなどを対象に、セキュリティ・バイ・デザインの考え方に基づき、システムの構想段階でセキュリティ要件を確認・承認し、リリース前に実装状況を確認する「セキュリティ審議」の取り組みを実施しています。

自主点検に基づく継続的な改善の取り組み

JR西日本グループでは、遵守すべき具体的なセキュリティ基準を定めた「JR西日本グループ情報セキュリティガイドライン」を策定し、技術動向や過去のインシデントを踏まえて定期的に内容の見直しを行っています。

このガイドラインに基づき、JRW-CSIRT加盟会社各社では各システムにおいて必要なセキュリティ対策が適切に実施されているかを自主点検し、不備がある場合は改善計画を策定のうえ、改善活動に取り組んでいます。JRW-CSIRT事務局は自主点検のフォローによりリスクの早期改善をサポートし、株式会社JR西日本ITソリューションズ（J-WITS）はITシェアードサービスおよびIT業務支援サービスの提供を通じて、グループ会社のセキュリティ向上に貢献しています。

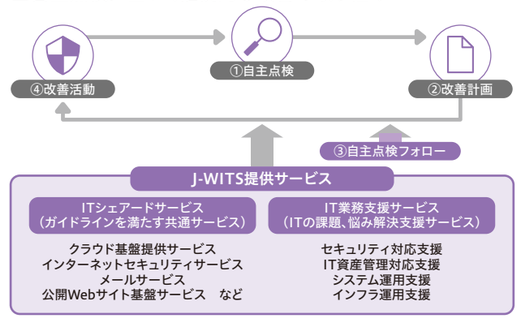
■重要インフラ部会の運営



■ システム開発における投資決定までのフロー

ベースラインアプローチ	「JR西日本グループ情報セキュリティガイドライン」で規定する、JR西日本グループのシステムが満たすべきセキュリティ要件が遵守されることを確認
リスクベースアプローチ	システム・サービスの特性に応じたリスクを特定・評価し、各リスクに対してセキュリティ対策の十分性を確認

■自主点検に基づく継続的な改善の取り組み



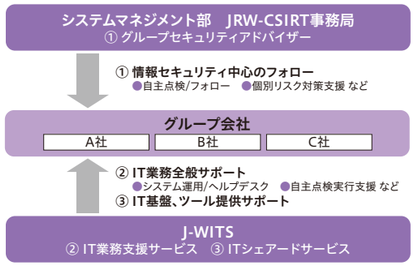
グループ会社支援の取り組み

JR西日本だけでなく、JR西日本グループ全体での情報セキュリティレベルのさらなる向上は、グループデジタル戦略を推進するうえで喫緊の課題です。毎年グループ会社各社ではPDCAサイクルに基づき情報セキュリティの精度向上に取り組んでいますが、グループ会社に共通する問題認識として、IT・情報セキュリティ人財の不足、システム導入・更新による負荷増加、自社における情報セキュリティリスク評価への不安などが挙げられ、さらなるレベル向上にはこれらの解決が鍵となります。

そのため、新たな施策を含め、下記3つの施策によりグループ会社の支援を行っています。

1. JR西日本として2024年度に新たに設置したグループセキュリティアドバイザーを増強し、グループ会社の情報セキュリティの課題解決を支援しています。例えば、多岐にわたる自主点検チェック項目一つひとつについて具体的な対話を各社と行い、リスクを評価し、ポイントとなるリスクの認識を共有し改善につなげる活動を行っています。
2. J-WITSが提供するIT業務支援サービスを通じて、グループ会社のIT推進体制を強化しています。高度化するセキュリティ対応への各社のレベルを向上するとともに、業務負荷を軽減しています。
3. 情報セキュリティガイドラインチェックリストを満たす、J-WITSの共通基盤や情報セキュリティ対策ツール等のITシェアードサービスを提供して、グループ会社における情報セキュリティリスクを低減するとともに、自主点検の負荷を軽減しています。

■グループ会社支援の取り組み



情報セキュリティ

情報セキュリティ対策

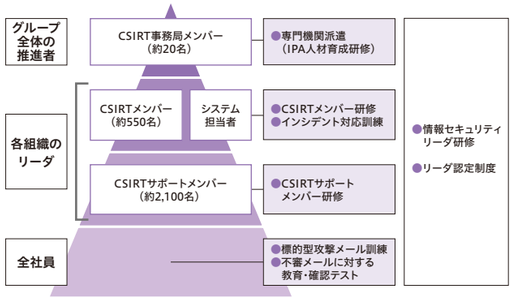
社員のリテラシー向上に向けた取り組み

JR西日本グループでは、社員のリテラシー向上の取り組みとして、全社員を対象とした情報セキュリティ訓練・教育を実施するとともに、役割に応じた階層別の教育・研修も実施しています。また、情報セキュリティ業務に従事する社員のモチベーション向上を目的に情報セキュリティリーダ認定制度を設けています。

※2024年度実績

区分	条件	認定者数
★★★	情報セキュリティリーダ研修修了 ＋情報処理安全確保支援士試験合格	70名
★★	情報セキュリティリーダ研修修了 ＋情報セキュリティマネジメント試験合格	228名
★	情報セキュリティリーダ研修修了	6,297名

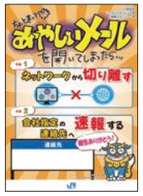
■ 情報セキュリティ訓練・教育の全体像



全社員向けの教育・訓練

危機意識の醸成および初動対応力の向上を目的に、JRW-CSIRT加盟会社の全役員・社員（約50,000名）を対象とした標的型攻撃メール訓練を実施しています。

また、JRW-CSIRT加盟会社の全社員を対象に最低限遵守すべきルールの理解を目的として教育を行っています。加えて、2024年度には全役員・社員を対象として「不審メール10のポイント」の教育を実施し、各職場に注意喚起ポスターを掲示しました。



注意喚起ポスター

ステッカーの配布

各組織の経営層・推進リーダ向けの教育・訓練


情報セキュリティ研修開催の様子

●経営層・部門長

グループ会社を含むJRW-CSIRT加盟会社のトップやCISOなどの経営層（約210名）を対象に、サイバー攻撃の脅威と対策および経営層がセキュリティ対策において果たすべき役割について理解することを目的とした研修を実施しています。

●情報セキュリティに関わる担当層

JRW-CSIRTメンバーなどを対象に、情報セキュリティ施策を主導する人財の育成を目的とした研修を実施しています。また、JRW-CSIRTサポートメンバーを対象に、情報セキュリティの基礎知識やCSIRT活動の目的・内容を理解するための説明会も実施しています。

●重要インフラに関わる責任者、担当者

重要インフラ事業者を対象とした国家サイバー統括室（NCO）主催のサイバー演習（全分野一斉演習および2025年大阪・関西万博に向けた一斉演習）に参加し、障害対応体制の検証などを行っています。

各組織の経営層・推進リーダ向けの教育・訓練（インシデント対応訓練）

JRW-CSIRT加盟会社において、各社が保有する重要システムの停止や機密情報の漏洩を想定した訓練を実施しています。この訓練は、システム担当者がインシデント対応の一連のプロセスを理解するだけでなく、経営層がインシデント発生時に適切な経営判断をすることも目的としており、経営トップも参加する形で実施しています。

グループ全体の推進者向けの教育・訓練

独立行政法人情報処理推進機構（IPA）主催の「中核人材育成プログラム」へ社員を1年間派遣し、セキュリティ人財を育成しています。併せて、外部研修への参加や資格取得を支援する制度を設けており、特にセキュリティ分野の学習を推奨した結果、JR西日本グループ内の情報処理安全確保支援士試験合格者数は70名を超えています。

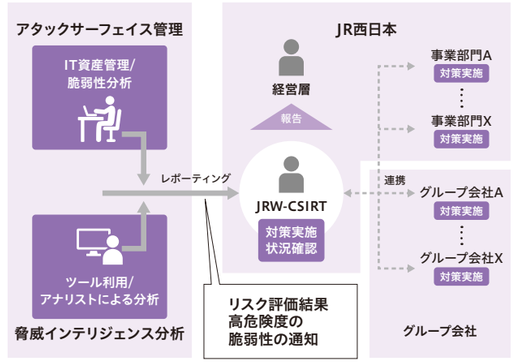
技術的対策の全体像

クラウドサービスの利用拡大やAI関連システムの利用に伴いインターネットとの通信量は年々増加しており、サイバー攻撃を受けるリスクも高まっています。こうした環境変化に対応するため、アイデンティティ、デバイス、ネットワーク、アプリケーション、データ、モニタリングなどの観点から技術的対策の検討・導入を進めています。また、メールの送信元認証の強化などを通じて、JR西日本グループのサービスをより安心してご利用いただくための環境整備にも取り組んでいます。

外部脅威への対応

サイバー攻撃の兆候や攻撃の手がかりとなるインテリジェンス情報を収集し、外部公開されているデジタル資産の管理情報と併せて、定期的に攻撃者の視点から分析を行っています。これによりJR西日本グループの弱点を洗い出し、サイバー攻撃に対する備えを継続的に強化しています。

■ 外部脅威への対応



情報セキュリティに関するKPIの設定および優秀組織の表彰

JRW-CSIRT加盟会社を対象に情報セキュリティに関するKPI（重要業績評価指標）を設定し、セキュリティ対策への取り組み状況を定量的に評価しています。具体的には、「脅威インテリジェンスを活用した攻撃面調査」「標的型攻撃メール訓練」「情報セキュリティリーダ研修の受講者数」などの項目ごとにグループ共通のKPIを設定することで各部門・グループ会社と共通の目標を共有し、一貫したセキュリティ対策を推進しています。

●優秀組織の表彰

特に顕著な成績を達成した組織を優秀組織として表彰し、JR西日本グループにおける情報セキュリティ活動のフィーチャリングを進めています。

2024年度実績に基づき、最優秀賞4組織、優秀賞5組織、奨励賞1組織へ表彰を行っています。


JR西日本SC開発株式会社の優秀組織表彰の様子


大阪電気工事事務所の優秀組織表彰の様子

■ 情報セキュリティに関する主なKPI

- ●脅威インテリジェンスを活用した攻撃面調査
  重要項目について対応済
- ●標的型攻撃メール訓練
  対象者全体に占めるメール開封後の未報告者の割合 1%未満
- ●情報セキュリティリーダ研修の受講者数
  情報セキュリティリーダ認定者の割合 10%以上

第三者評価・認証など

第三者評価・認証など

JR西日本グループでは、情報セキュリティに関する認証・資格の取得に積極的に取り組んでいます。

●JR西日本におけるISMS認証の取得

JR西日本デジタルソリューション本部WESTER-X事業部は、2025年3月16日に情報セキュリティに対する管理体制強化のための国際規格である「ISMS認証（ISO/IEC27001:2022）」を取得しました。

●情報セキュリティ関連資格 取得数一覧

各社におけるセキュリティ施策を適切に推進するため、セキュリティ関連の公的資格の取得を推奨しています。

※2025年4月1日時点（旧制度試験の合格者を含む）

資格名称	資格取得者数		合計
	JR	グループ会社	
情報処理安全確保支援士（SC）	36	38	74
情報セキュリティマネジメント（SG）	241	151	392